

### 純三春産純米大吟醸原酒

#### 「三春一と口」完成

佐藤酒造（中町）より、全ての原材料を三春産でそろえた日本酒「純米大吟醸原酒 三春一（ひと）と口」の完成報告がありました。

昨年は、町外で生産された酒造米を使用しての製造でしたが、今回は、昨年、中妻地区で生産された酒造好適米「五百万石」、福聚寺にある樹齢四百数十年のベニシダレザクラの花弁から採取した酵母、水は阿武隈山系の伏流水を使用した純三春産の日本酒の誕生となりました。

味は昨年より酸味を抑えられすっきりとした味わいになっています。ラベルは、芥川賞作家で福聚寺住職の玄侑宗久氏が記し、日本酒の苦手な人には「まず一口」、好きな人には「もう一口」と誘う意味が込められています。

また、完成を祝し、耕雲の会（代表石田智子より、町振興のためにとご寄附がありました。



完成した三春一と口

### 観桜会開催 交流自治体との親睦深める

4月11日、姉妹都市である岩手県一関市から市長、議長、商工労働部長、議会議務局長、まちづくり推進部政策推進監、市長公室秘書課長、商工労働部商業観光課長、平成23年度に保健師の派遣協力をいただいた埼玉県小鹿野町から福祉課長、主任保健師が三春町を訪れました。

ライトアップにより暗闇に映しだされた幻想的な滝桜をご覧いただきながら、交流自治体との親睦がはかられました。



観桜会に参加した皆さん

### 三春中の教育研究が

#### 「優良賞」を受賞

三春中の教職員が実践した教育研究が、第21回日本教育公務員弘済会（日教弘）教育賞の「優良賞」に選ばれました。

全国から2,345件の応募があり、福島県では初めての受賞となりました。

研究テーマは「学年型教科教室の学習環境を生かし、主体的に学び続ける生徒の育成」で、教科教室の理念が生かされ、学習内容と学習環境が効果的に組み合わせられている実践が高く評価されました。

佐藤祐也校長は「全教職員で行った研究が認められたことは意味深い。生徒と教員の信頼関係の中で実践できた研究であると思う。今後とも、研鑽に励みたい。」と感想を述べていました。



受賞報告に訪れた佐藤校長（中央左）と伊東教諭（中央右）

### 町PRアニメーション「みはるのハルミー」 完成披露試写会を行いました

3月28日、三春交流館「まほら」まほらホールにおいて、地域の団体や制作関係者による完成披露試写会が行われました。

試写会では、総監督を務めた福島ガイナックスの浅尾芳宣代表取締役からPRアニメーションの説明があり、アニメーション制作に参加した子どもたちも参加しました。



アニメーション制作に参加した皆さんの舞台あいさつ